

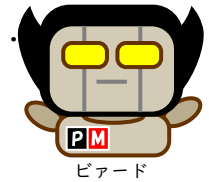
高い速度で交差点に進入すると？：プローブ #03

整理

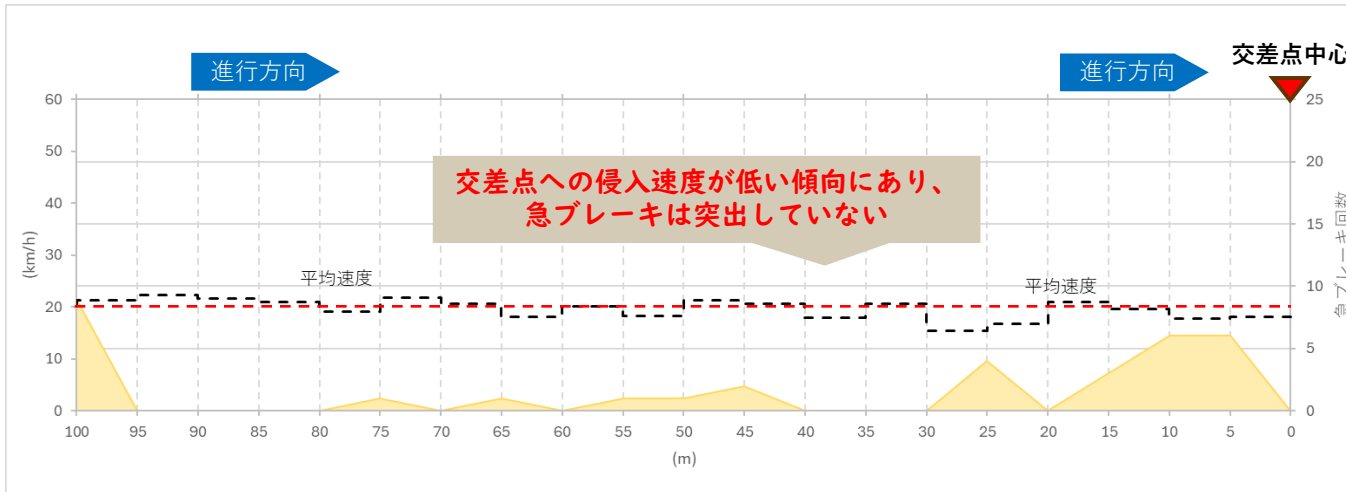
分析

可視

プローブデータは位置（座標）と日時以外にも速度、重力加速度、車種、用途など様々な情報を持っています。
ここでは交通課題の異なる交差点への侵入状況を「速度」と「急ブレーキ（マイナス加速度）」から何が見えるのか…
『2つの交差点に進入する車両の走行速度と急ブレーキ発生件数を集計して算出』した結果です。
位置情報や速度、加速度を整理することで交差点への侵入車両に対して走り方に違いがあるのか？を把握することが可能なのかを確かめてみました。



■渋滞が多い交差点に急ブレーキ記録を重ねたグラフ

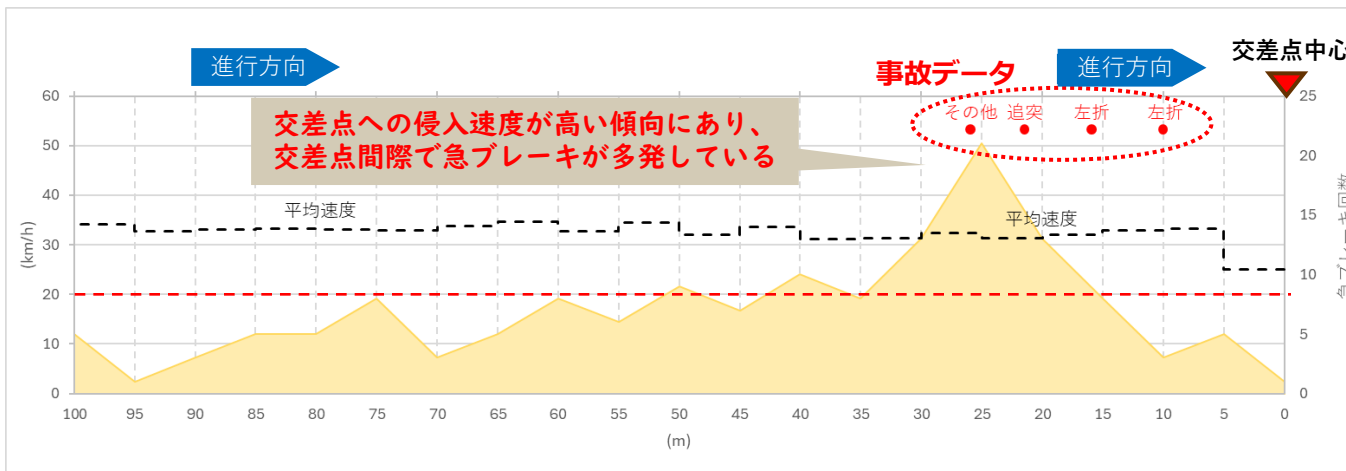


渋滞の多い交差点と事故の多い交差点に急ブレーキ情報を重ねたグラフを作成し比較を行ってみました。

- 渋滞の多い交差点では平均速度が低く急ブレーキの発生が少ない
- 事故の多い交差点では平均速度が高く直前での急ブレーキが多い

交差点は信号、右左折などの情報量が多い場所であるため、走行速度が早ければ操作や確認ミスが発生しやすいといった、あたりまえの事に思えますが、今回の図化分析により改めて気づく事ができます。
また、事故を減らすためには、どのような対策が必要なのかといったヒントも得る事ができると考えます。

■事故が多い交差点に急ブレーキ記録と事故記録を重ねたグラフ



高い速度で交差点に進入するのは危ないですね？

